

「朝日ヶ丘幼稚園敷地における
幼保連携型認定こども園の整備」説明会

日 時：平成30年7月3日（火）10：00～
7月4日（水）19：00～

場 所：朝日ヶ丘集会所

1 朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園の整備について

[資料1](#) [資料2](#) [資料3](#) [資料4](#) [資料5](#)

2 質疑応答

芦屋市

こども・健康部子育て推進課

TEL：0797-38-2180 担当：和泉・田中

教育委員会管理部管理課

TEL：0797-38-2085 担当：山川・柏原

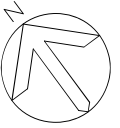
岩園保育所大規模改修に関する説明会について

開催日時 / 場所		参加者数
平成30年3月22日（木）18:00～18:50 / 岩園保育所		24人（岩園保育所保護者）
平成30年3月29日（木）14:30～15:10 / 翠ヶ丘集会所		8人
平成30年4月1日（日）19:00～20:40 / 翠ヶ丘集会所		10人
主 な 意 見・要 望		市の考え方
安全対策について		
1	仮園舎前の道路が狭く、踏切待ちの車が出入口を塞ぎ危険である。	出入口を道路から後退させ、一時的に駐輪等ができるスペースを確保するよう設計変更しました。
2	駐車場を確保して欲しい。	仮園舎敷地は狭く、送迎用の駐車場の確保は困難です。
3	登園・降園時に専門のガードマンを配置して欲しい。	登園・降園で混雑する月～金曜日の朝・夕各2時間に、ガードマンを1名配置します。
4	仮園舎前の道路は狭いが、交通量が多いので心配だ。	保育所があることの表示等を掲示するなど、注意喚起を行います。
仮園舎について		
5	出入口が踏切に近く危険であるので、南側へ移動させて欲しい。	出入口から給食食材を搬入するため、その付近に調理室を配置しなければなりません。調理室の排気口を南側住宅から離すため、北側に出入口を設けていることから、南側への移動は困難です。
6	仮園舎を建てずに岩園幼稚園の空き教室に一時的に保育所の子どもを受け入れればよい。	岩園幼稚園で保育所の子どもを受け入れることは、施設の面積基準を満たさないことからできません。
その他		
7	工事期間中、岩園幼稚園の園庭を使えないか。	岩園幼稚園とは現在も交流しており、今後も交流を行います。

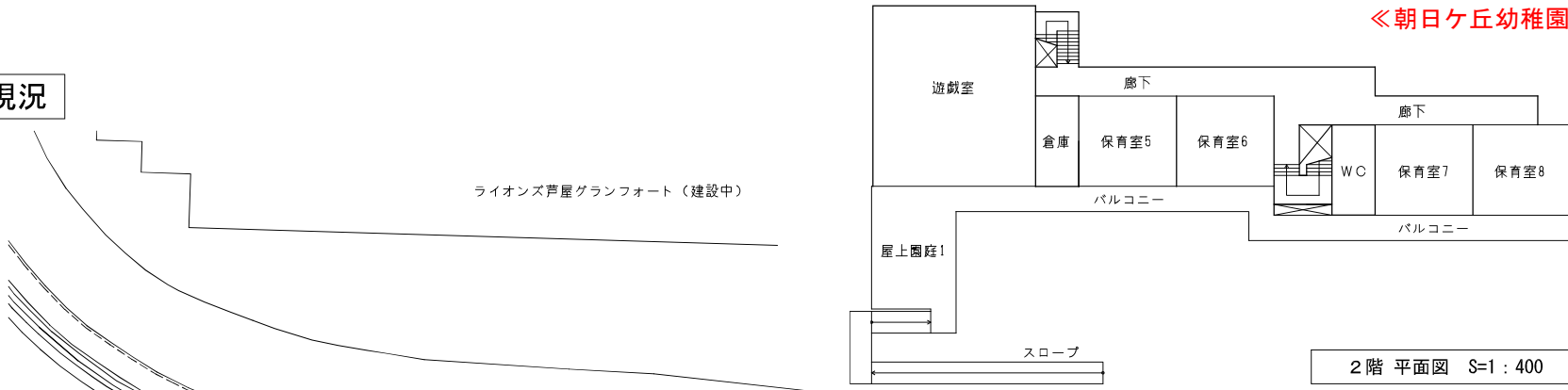
朝日ヶ丘幼稚園敷地における認定こども園整備に関する説明会について

開催日時 / 場所		参加者数
平成30年4月3日（火）14:30～16:30 / 朝日ヶ丘集会所		18人
平成30年4月5日（木）19:00～21:00 / 朝日ヶ丘集会所		15人
主 な 意 見・要 望		市の考え方
駐車場について		
1	掘り込み式駐車場の出入口は見通しが悪く、危険であるため反対だ。	設置運営事業者には交通安全に考慮した設計を求め、市も安全対策について協議します。
2	掘り込み式駐車場を造成せず、朝日ヶ丘プールの駐車場を活用するべきだ。	朝日ヶ丘プール前の道路もスクールゾーンの時間規制があるため、活用は困難です。
3	造成工事の費用がわからないが、高額になると考えられるので反対だ。	大規模工事が見込まれるため、費用、工期について精査します。
その他		
4	幼稚園で3～5歳児保育を行い、延長保育を拡大すれば、保育所の3～5歳児の枠が空くので、0～2歳を保育所で受け入れたらよい。	幼稚園で保育所の子どもを受け入れるには、給食設備の改修等課題が多いため、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ認定こども園を整備することで、待機児童の解消と3歳児の教育二ーズに対応してまいります。

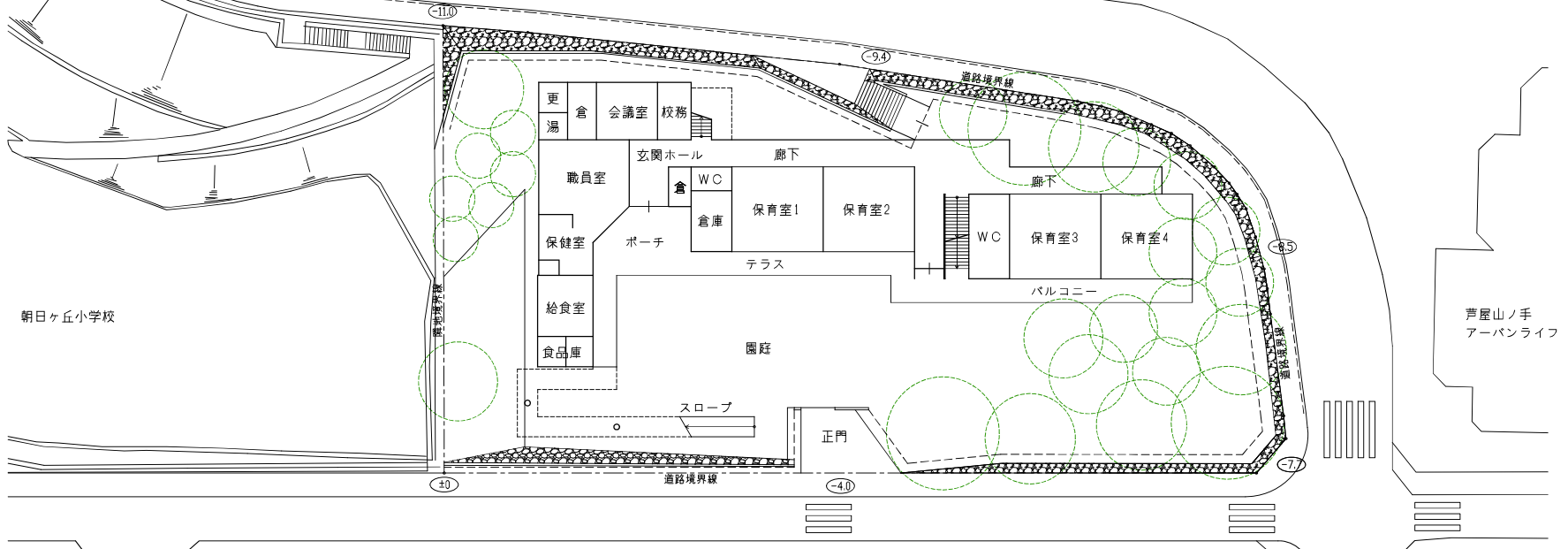
《朝日ヶ丘幼稚園》



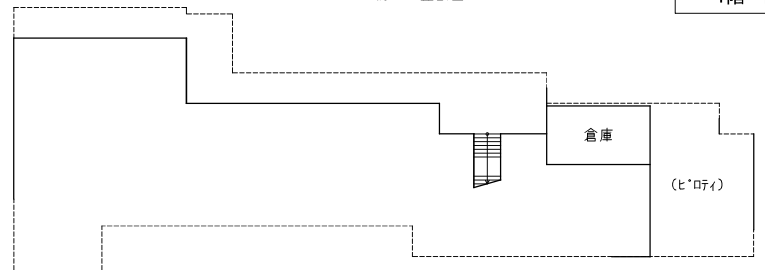
現況



2階 平面図 S=1:400



1階 平面図 S=1:400



B1階 平面図 S=1:400

朝日ヶ丘小学校

ライオンズ芦屋グランフォート (建設中)

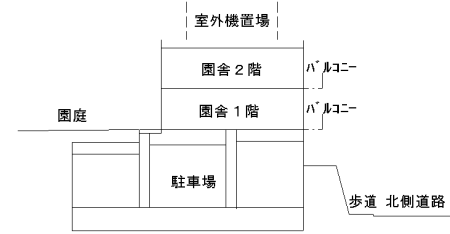
芦屋山ノ手
アーバンライフ

朝日ヶ丘レックス
マンション1号棟

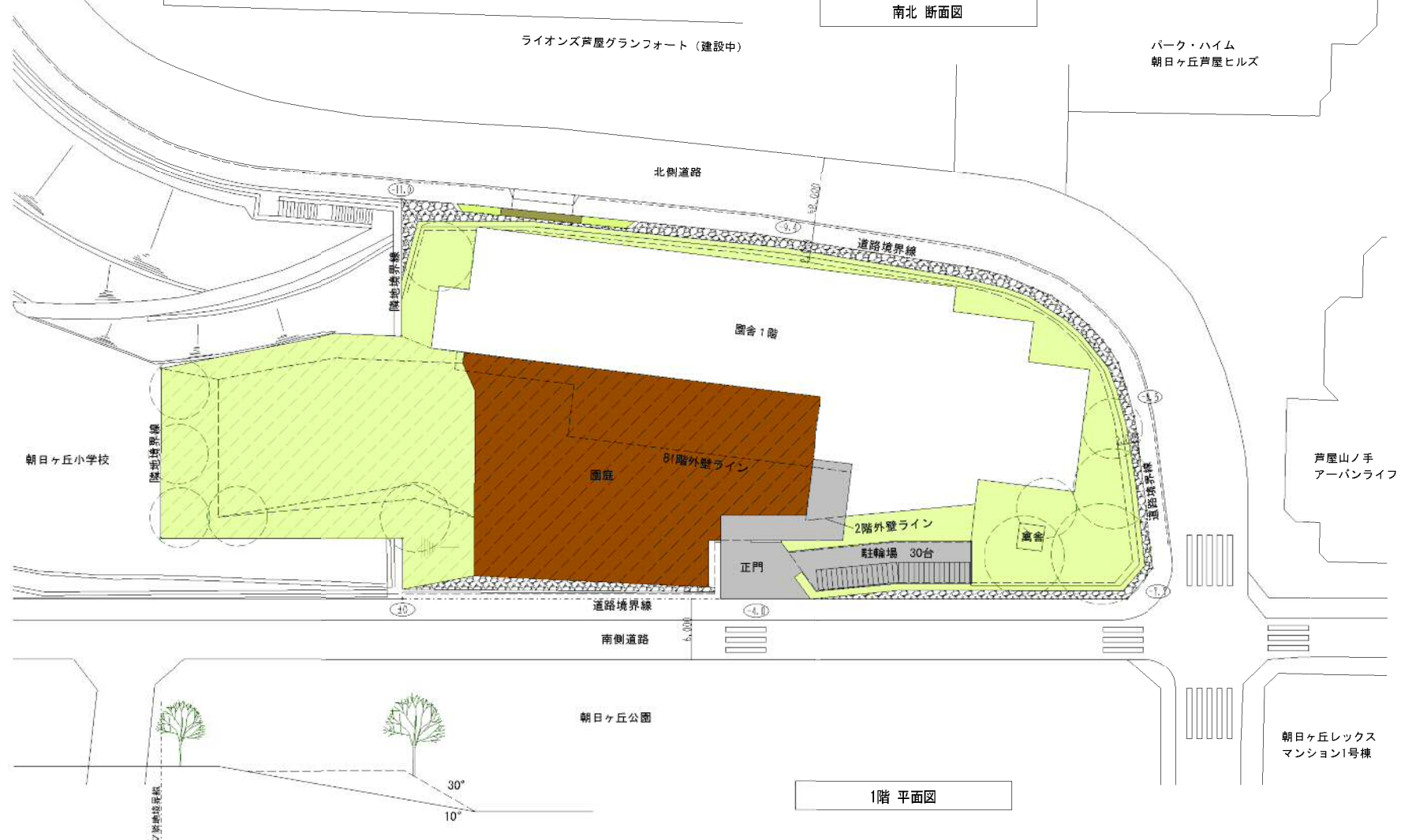
計画例

- 緑地
- 舗装
- 園庭（緑地等）
- 園庭（土）

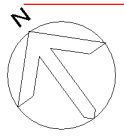
敷地面積	3,000㎡
建築面積	920㎡（建蔽率：30.6% ≦ 60%）
2階床面積	710㎡
1階床面積	850㎡
B1階床面積	820㎡（駐車場：730㎡）
延床面積	2,380㎡



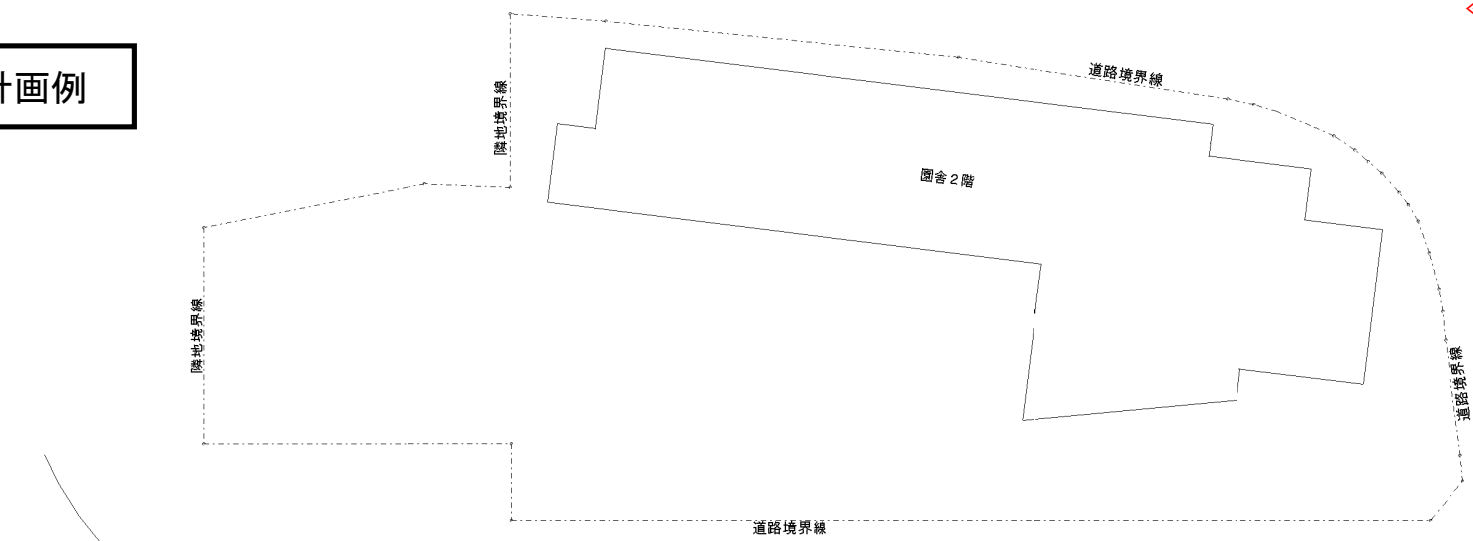
南北断面図



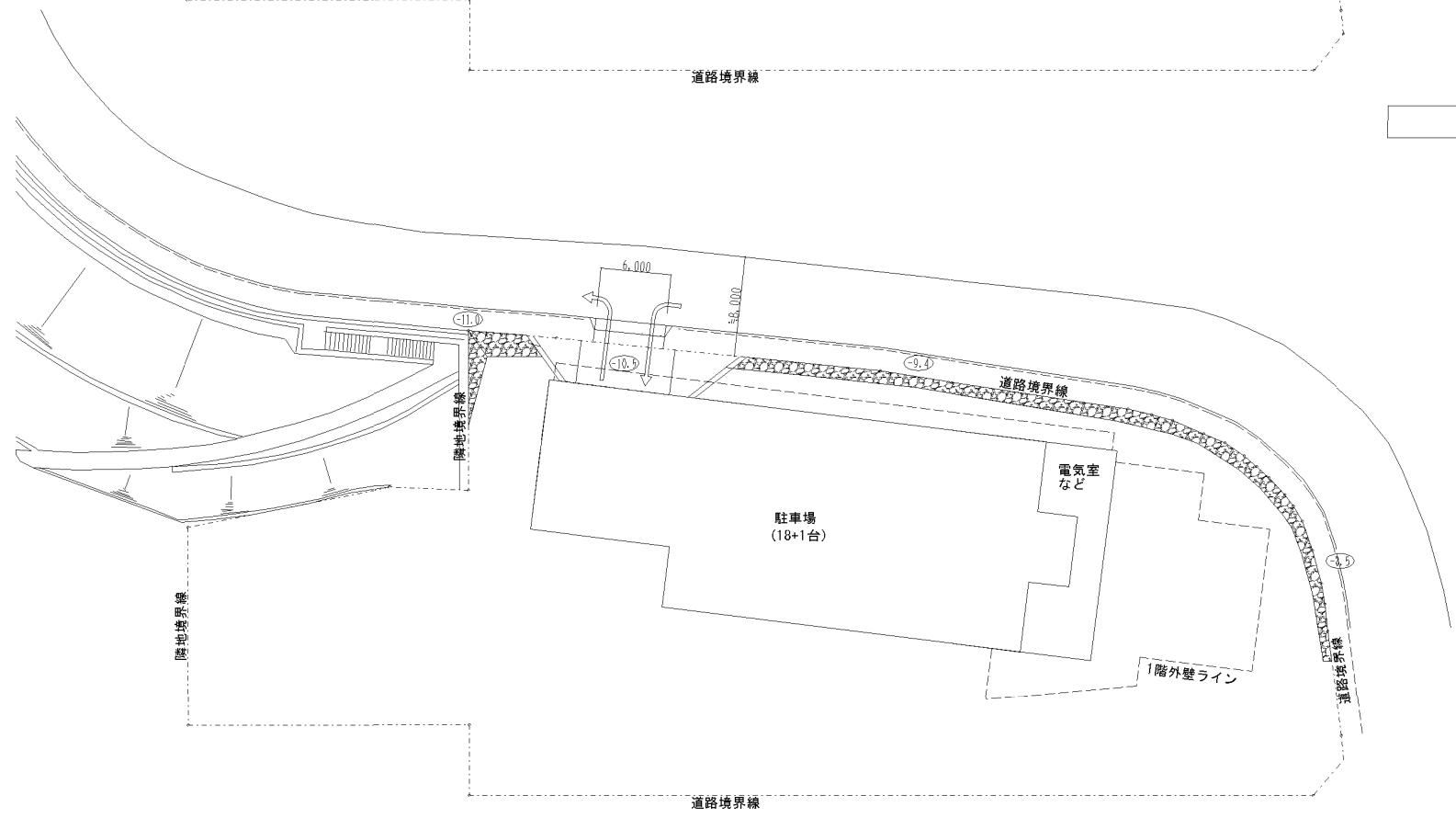
1階 平面図



計画例



2階 平面図



B1階 平面図

工事工程及び概算工事費について

(1) 工事工程

	平成32年			平成33年		
	4月	7月	10月	1月	4月	7月
幼稚園舎解体工事						
基礎工事等						
地下工事（駐車場）						
園舎建設・外構工事等						

※ 既存園舎の解体工事は解体工法等により工事期間が延長となる可能性があります

※ 転石等により、工事期間が延長となる可能性があります

(2) 概算工事費

駐車場部分	約 2億1,000万円（消費税込）
園舎解体部分	約 7,000万円（消費税込）

※ 駐車台数は19台としています

※ 駐車場周囲の擁壁は石積みを復旧します

※ 転石等が出た場合は別途費用が発生します

幼保連携型認定こども園

・小規模保育事業A型等設置運営事業者の募集について

設置運営事業者募集の諸条件について

	幼保連携型認定こども園	小規模保育事業（認可保育所への移行を含む）
募集する場所	朝日ヶ丘町10番3号 （現市立朝日ヶ丘幼稚園） 敷地面積 約3,000㎡	翠ヶ丘町19番（地番） （岩園保育所大規模改修用仮園舎予定地） 建物面積 約340㎡
開園年月日	平成34年4月1日	小規模保育事業：平成31年7月1日 認可保育所：平成32年4月1日
土地について	開園に必要な準備期間及び開園後10年間は 無償貸付 その後の貸付方法は別途協議	
建物について	事業者が新設すること。 既存建物は事業者で解体・撤去すること。	市が指定する仮園舎を使用すること。 （岩園保育所大規模改修用仮園舎は、市による小規模保育事業所等を運営するための改修工事済み） 賃借料は月額95,000円（消費税込）とする。
駐車場について	朝日ヶ丘幼稚園敷地に地下式の駐車場を、 障がい者等用駐車場含め19台程度整備すること。	
補助金について	<p>新園舎建設：保育所等整備交付金及び認定こども園施設整備交付金の交付要綱に基づいて補助</p> <p>幼稚園舎解体：（市単独補助） 7,000万円を上限に補助</p> <p>駐車場建設：（市単独補助） 2億1,000万円を上限に補助</p> <p>※ 認定こども園を運営しなくなった時は、市単独補助分も国補助基準に準じ補助金を返還すること。</p> <p>また、事業者の費用をもって当該施設を更地にし、市へ返還すること。ただし、市が当該施設の無償譲渡を求めたときは応じること。</p>	<p>登降園時の警備委託：（市単独補助）</p> <p>事業者で警備委託（土曜日を除く開園日の午前7時～9時及び午後5時～7時において1名の警備員を配置）を行うこととし、その月額委託料の半額を補助。</p> <p>ただし、上限は15万円（消費税込）とする。</p> <p>※ その他一般諸経費（光熱水費等）は事業者の負担とする。</p>
【共通】 補助金については該当年度における芦屋市の予算成立を条件とする。		

※ その他の募集要項の内容は、今までの公募における募集要項の内容を踏まえ、芦屋市教育・保育施設整備事業者等選定委員会の協議を経て決定する。

今後の主なスケジュール

日 程	主 な 内 容
平成30年 7月	住民説明会（造成費・工期等）, 選定委員会（募集要項調整）
8月15日	公募開始（広報あしや8月15日号掲載）
10月	応募受付
12月	選定委員会（第1次審査）
平成31年 1月	選定委員会（第2次審査）
2月	選定委員会（第3次審査）, 事業者決定
4～6月	仮園舎（翠ヶ丘町）改修工事
6月	事業者による住民説明会
7月～	仮園舎（翠ヶ丘町）における小規模保育事業所開園
平成32年 3月	事業者による工事説明会
4月～	仮園舎（翠ヶ丘町）における認可保育所開園 （小規模保育事業所から認可変更） 朝日ヶ丘幼稚園舎解体・駐車場建設・新園舎建設工事
平成34年 4月1日～	朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園 開園